

事業実績報告書

様式 2
(2021年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	C-04	講座名	第30回環境フォーラム
記載日	2021/6/4	団体名・企業名	株式会社エステム
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>第30回目の環境フォーラムでは、「水の未来予想図」と題して、普段私たちが当たり前で使用している水事情について、講師の方(沖氏：東京大学総長特別参与、橋本氏：アクアスフィア・水教育研究所代表、中村氏：名古屋大学大学院准教授)に講演していただきました。沖氏には、「バーチャルウォーターやSDGs」について理解を深める事例を紹介していただきました。橋本氏には、世界の水事情について理解して頂くため、開発途上国を中心とした事例を紹介していただきました。座談会では、中村氏がファシリテーターとして、「水インフラの役割」や「如何にして私たちが問題を自分事として捉えられるか」など、身近に落とし込んで議論していただきました。また、新たな試みでオンラインで開催し、後日録画視聴できる期間限定配信を行いました。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
沖氏講演の様子です。(オンライン配信)		対談形式の議論の様子です。(オンライン配信)	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>1.講演会について 大変な情勢の中、多くの方々に参加いただき感謝しております。今回の講演を通じて、当たり前の日常について考え直すきっかけになれば幸いです。世界や日本の水事情に精通し活躍されている講師のお話を聞くことができ、未来の子どもたちが安心して暮らせる環境創りの一助になる行動をしていければと感じました。</p> <p>2.オンライン開催について 初めてのオンラインでしたが、有意義な試みになりました。以前は会場のみ開催のため、名古屋市周辺からの参加者が多く、大きな会場では座席によって講師や画面が見えづらかったり、聞こえにくいことがありました。アンケート結果から、遠方からの参加者が非常に増え、講演内容を聞きやすくなったという声をいただき、課題が改善された面を感じられました。今後は、より多くの方に参加いただけるよう会場とオンラインで開催していけたらと感じます。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<ul style="list-style-type: none"> ・大きな目標と地道な活動をどうつなげていくか等ヒントを頂けた。 ・水処理に対して「水を綺麗にするためだもう少しお金やエネルギーを使ってもいいんじゃないかな」といった考えに寄ってしまいましたが、水の問題が食料やエネルギー問題にも関わってくるという事を学んだことで、今後の仕事はもう少し視点を増やして多角的に考えていこうと思いました。 ・初めてのオンライン開催であり、どうなのかと思って視聴しましたが、パネル画面も見やすく、聞き取りやすく、思っていた以上に内容が伝わってきました。参加が容易であるのと十分にメモを取る態勢がとれたので、内容に関しましても非常に勉強になりました。 ・ZOOMで開催地から遠方の自宅から視聴できたことが大変良かった。 			